

令和8年度予算案のEBPM「児童相談所の採用・人材育成・定着支援事業」

課題データ

児童相談所においては、これまでも、児童虐待防止対策総合強化プランに基づき児童福祉司等の増員を図ってきたことから、経験の浅い児童福祉司等が占める割合が高くなっている。さらに、過大な業務量に加え、児童相談所の対人援助業務は心理的な負担も非常に大きいため、心身の不調で長期休暇を取得したり、退職する者も多い。今後、令和4年12月に決定された新プランに基づき、更に採用を増やしていく必要があるが、児童相談所の業務への理解不足等もあり新規の採用自体も厳しいことに加え、採用ができたとしても引き続き人材育成や定着が図られないままでは児童相談所の業務負担を解消することは困難であり、児童相談所の採用・人材育成・定着を支援することは喫緊の課題となっている。



事業

児童相談所の採用・人材育成・定着支援事業

令和8年度当初予算案：80百万円

全国の児童福祉司、児童心理司等の実践的な研修機会を確保するため、VR等を活用した困難家庭への家庭訪問などテーマ設定に応じた研修システムを整備することにより、人材育成及び資質向上を図る。民間団体へVR等を活用した研修システム作成を委託し、全国の児童相談所で活用可能となるよう展開を図る。



※アウトプット、アウトカムの（ ）内は直近の実績値

EBPM指標

アウトプット	VR等を活用した研修システムを児童相談所職員研修へ活用する自治体数 2026年度 10自治体
短期アウトカム	—
中期アウトカム	—
長期アウトカム	児童相談所職員の勤続年数

目標

